



社会福祉法人さざんか会法人広報誌『おーぷん第84号 2020春』

発行：さざんか会法人本部/船橋市行田 2-8-1/☎047-404-1135

編集：おーぷん編集委員会/けいよう/船橋市二和西 5-10-1/☎047-411-8177

年度末を迎え、大変な事態になってしまいました。中国は武汉市の住人が発症した“新型コロナウィルス”による感染症がまたたく間に広がり街が閉鎖され市民の交流も断絶、孤立状態。ほぼ全ての活動は停止。感染の拡大を何としても防ぐ策が講じられました。それでも感染は治まらず、日々感染者は増加します。そして、このウィルスにより肺炎を起こし、大勢の人たちが

亡くなつてしまひました。この  
感染症は中国の他の街にも拡散  
各地から新たな患者が現れまし  
た。

この病、去年12月には発病し  
た人が居たのですが、公表され  
たのが遅くなり、この間の不手  
際により一層感染防止への対策  
が遅れ、その分拡大してしまつ  
たとの情報もあります。様々な  
分野で中国と密接な交流のある  
この国も戦々恐々、対応策が迫

その後の経過はご承知のとおりです。今朝(3月7日)のニュースでは、中国の感染者は八〇六五二人で死者は三〇七〇人、日本は千一五七人で死者は一二三人(クルーズ船含む)、世界九〇カ国以上の感染が伝えられています。各国それぞれに感染防止のための策が講じられていますが、中々感染終息の気配は窺えませ

「落ち着こう

社会福祉法人さざんか会  
理事長 宮代 隆治

## おーぷん84号目次

## P1 「落ち着こう」 さざんか会 理事長 宮代隆治

### P3 寄稿『卒園にあたって』

- ・とらのこキッズ保護者 渡辺 裕美
  - ・さざんかキッズ保護者 佐野 雅美

(敬称略)

## P5 各事業所冬だより

- ・のまる
  - ・けいよう
  - ・カメリアハウス
  - ・ゆたか福祉苑
  - ・とらのこキッズ
  - ・さざんかキッズ
  - ・魔法のランプ
  - ・DD,のまのまホームズ

P9 北総の里だより

- ・北総育成園
  - ・ 笹川なづな工房

P12 後援会だより

ん。それどころか、感染は拡大の一途のようです。

この国では、3月からほぼ全国の小中高の学校が休校となりました。集団感染のリスクを避けなければなりません。が、この施策があまりにも急であり、備える体制が不備のままに発車しましたので、全国に相当の混乱が起きました。新型でするので、未だこの病に対応できるワクチンはありません。手探りながら、やれこの薬が効きそう、こつちも効いたそ�だ、とのニュースも世界から届いてきましたが、有効なワクチンの開発には未だ時間が掛かりそうです。



私たちが過去に経験した、同様のウィルス騒ぎに比べても致死率は低い、とは言われても、一體いつになつたら感染は下火となり落ち着くの…。終息はいつになるの、皆不安な気持ちを抱いています。

当然、社会はこの状況を映して通常とは異なる様相を呈します。“マスク”の着用も一例です。感染者のウイルス飛沫を防ぐに効果はあるても、感染そのものを封じる効果は如何程、と評価されても何もしないよりは…、と思つてしまひます。通勤車中でマスクもせずに咳やくしゃみでも出そうものなら、皆に睨まれてしまひそう。マスクは生活の必需品となりました。となると、それを確保せんと購入に走ります。今のうちに買つておかないと無くなつてしまふ。とにかく、買えるだけ買っておこう、と。かくして、お店からマスクが消えてしまいました。ネットでは一箱ン万円、法外な値段のマスクが売買される始末ですが、何でトイレットペーパー、マスクや除菌用アルコールや石鹼等が品薄になるのは理解できますが、何でトイレットペーパーがティッシュペーパーが無くなるのか？これらは中国からの輸入に頼つているのであり、中国があの状況では今に無くなつてしまふ、との情報がSNS等から流れた様子。これは大変、さあ今のうちに、と。これが全くのうそ、でたらぬ。こゝぞとばかりに

皆が買ひ占めれば、無くなるのは当たり前。問題は流通にあり、在庫自体は十分です、と火消しのP.Rに努めます。テーマに惑わされるな、と言つても目の前から消えてしまえば、焦るのも無理ありません。「後悔先に立たず」です。「正直者は馬鹿を見る」にもなりかねません。



世情が不安定となり、先行き不透明で困難や不測の事態が予想されるとき、私たちは流言飛語に惑わされ、とんでもない行動に走ってしまいがちです。

来るぞ」等々。市民は自警団を組織して、刀剣や竹槍等で武装します。拳銃、捕らえた朝鮮人を惨殺してしまいました。その数、数百から数千人と言われています。この船橋でも惨劇は起きていたようです。後日、これは全くの虚報であり、何らの根拠もなかつたことが…。普通のおじさん、お兄さんがこの時ばかりは鬼の形相で暴徒と化します。



教訓ではないでしょうか。世情の不安定、人心乱れるときともすればとんでもない行動に駆られてしまう。付和雷同を諫め、こんな時こそ冷静沈着に。

“新型コロナウィルス”騒ぎも、まだまだ続くかも知れません。過剰に構えることなく、正確な情報入手と判断、ほんの少しでも相手のことを思いやる“お互い様”の心構えを武器に対応していかなければ、と思つています。

【特集】この春、とらの子キッズおよびさざんかキッズの卒園を迎えたお母様にご寄稿いただきました。

## 「笑顔の多い日々を」



息子の翔大は、毎

日元気いっぱいに遊び活発な子です。七歳離れた姉がいます。翔大は、私の予想もしない動きをし驚かされることばかりでした。

一歳半頃には、踏切を見て「カンカン」とつたり、名前を呼ぶと手を挙げて「ハーハー！」と返事をしていました。しかし、それも言わなくなり、少しずつこだわりが出てきました。新しい服は着てくれず、靴はサイズが変わっても同じデザインの物でないと履いてくれませんでした。

翔大が三歳になる頃に幼稚園のプレに通い始めました。幼稚園には翔大の興味のある物ばかりで、沢山の玩具や遊具で遊びました。そこで、発達障害に気づかされました。

園庭で遊んで教室に戻る時間になつても戻れず、やつと教室に戻れても室内をウロウロして椅子に座つて待つことができませんでした。先生がピアノを弾いていると翔大もピアノの音を出して演奏を中断させたり、絵本を読んでもらつている時は話の途中でページをめくつてしまったり、興味がない時には教室から出て行き、在園児の教室に入つたり…と落ち着きのない状態でした。

こんな状態が続き、入園の面接で幼稚園から入園を断られ、他の幼稚園にも相談しましたが全て断られました。

幼稚園に入園できないとは思つてもいなかつたので、発達障害の知識が全く無かつた私は、「私の育て方が間違っていたのか…」と、ショックで涙が止まりませんでした。

それから、親子教室に通い始めました。そこでも落ち着きはなく動き回る翔大に先生方は根気強く声をかけ対応して頂きました。息子の子育てにいっぱいいっぱいになつていた私の悩みを聞き、アドバイスをしてもらえた事、同じような悩みを持つて子育てを頑張っているママ達に出会えた事により、子育ての考え方や広がり気持ちが少し樂になりました。

しかし、週二日の教室に路線バスに乗つて通うのは簡単ではありませんでした。急にパニックになりバスに乗れなかつたり、バス停から教室まで歩くのを嫌がり歩道に座り込んだり…。到着する頃には疲れきっていました。

また、外で遊び時は、帽子をかぶるのを嫌がり、玩具や遊具で遊び時は、順番を待つ苟々したり、椅子に座つて待つ事もできませんでした。通つているうちに、帽子を被つてくれる回数も増え、バス停と教室の移動時間も少しづつ速くなりました。

一年間通り、とらの子キッズへ入園を希望し、面接を受けました。入園希望者が多いと聞いていたのと、一年前に入園を断られた事もあり、私は不安でいっぱいでした。その後、入園通知書が送られてくると不安から解放され、ホッとしました。

ところがキッズに入園すると、翔大は毎朝笑顔で黄色い送迎バスに乗つて通つてくれました。翔

大にとつて楽しい場所に通わせられる事がとても嬉しかったです。園では、先生方の愛情ある対応のお陰で、できる事が増えてきました。衣服の着脱やトイレでの排せつ、少しずつですが単語が出てくるようになりました。

翔大がいてくれたから、同じ悩みを持つママや相談にのつてもらえる先輩ママにも出会える事ができました。障害のある息子を育てるのは大変な事が多いですが、今では沢山の方にサポートしてもらつてお陰で笑顔も増え、毎日を送る事ができます。

四月からは特別支援学校に入学ですが、親子教室の一年間と、とらの子キッズでの二年間は私たち親子にとって、色々な事を学び、成長する事ができました。卒園後も今までお世話になった先生方や皆さんに、遠回りでもゆっくりでも一步一步成長した息子を見て頂きたいと思っています。

これからも子ども達と一緒に笑顔の多い日々を過ごしていきたいと思います。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

とらの子キッズ 保護者 渡辺 裕美



## 「可能性は無限大」

私の息子、稜幸（たかゆき）は予定より一ヶ月早く、緊急帝王切開で生まれました。



低出生体重児でしたが、保育器に入ることなく、一ヶ月後には体重が2倍以上に増えるほど、ミルクと母乳をよく吸収して普通に成長していると考えていました。

医師から初めて成長に関する指摘をされたのは、三ヶ月検診の時に追視をしないことでした。それから保健センター等に相談しても、「成長には個人差があるから心配しなくて大丈夫」と言われるばかり。様子見として医療センターの眼科や小児科を受診し、ようやく検査に耐えうる月齢に行うCTの検査予約をした頃に、てんかん発作を発症しました。すぐに検査が行われ、孔脳症による症候性点頭てんかんと診断された数日後には、転院した千葉県こども病院で

入院治療を受けていました。その頃は医師から勧められる治療法が最適だと信じ、インターネットで病状に関する情報を調べては何が正解かも分からず、暗中模索の日々を過ごしていました。

初めての子育ての不安に加えて、反応の薄い子どもの育て方に困り、藁にもすがる気持ちで子育て支援センターへ相談に通つうち、発達に問題のある子どもが通う療育施設の存在を知り、西マザーズホームに入園。その後、身体障害かつ発作持ちの子ということで悪戦苦闘しながらも保育園に入園することができたこともあり、ぼんやりマザーズホームでの卒園を考え始めた頃、さざんかキッズが開園しました。

数少ない肢体不自由児のクラスが設置されている施設が、自宅から無理なく通える場所に出来たとあって興味があったものの、母親がフルタイムで働いていたため、当初は申し込みすら躊躇して入園を諦めていました。親の都合で子どもの可能性に制限をかけている

ことを申し訳なく考えていた頃、入園していた友達から施設の情報を教えてもらい、駄目でもともとだと希望を出して年中から保育園と併用する形でさざんかキッズに入園しました。

薬の副作用により鼻にチューブを挿入して栄養摂取するまで体調が悪化した時期もありましたが、入園の申し込みをする頃には運よくひどい発作が治まり、体の負担が軽減したのでしょう。習得した寝返りで動き回り、囁語を発して多少は感情を表現するまで成長しました。

たため、保育園では味わえない運動や感覚刺激を全身で感じ、さざんかキッズでの療育を楽しめていたと思います。

なお、家族や職場の協力の他に、さざんかキッズの先生方はあまり多く通うことが出来ない親子をいつも優しく、温かく迎えてください」と支援の影響も非常に大きかったと考えます。先生方のおかげで親子共に楽しり一年間を無事に乗り切ることが出来ました。本当にありがとうございました。



さざんかキッズ  
にじ組（肢体不自由児クラス）  
保護者 佐野 雅美

さて、親としては、子どものがからの成長が楽しみであるとともに、正直、この先の見えないことにに対する不安は拭えません。しかしながら、子どもを通して知り合ったご家族の勉強熱心なところ、いつでも明るく前向きな姿勢を見習い、子どもの可能性を信じてこれからも親子で頑張っていきたいと思います。

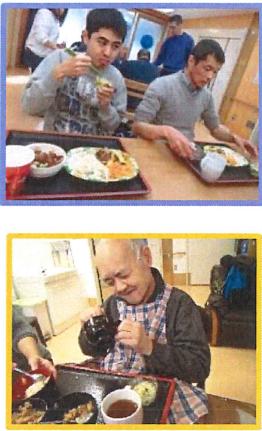
そして、皆様が毎日笑顔で過ごすことなどが出来、沢山の良い出会いと幸せが舞い込みますよう願っています。

# のまわる



# けいよう

のまるでは、毎年皆さんに楽しんでいた『クリスマス会』の様子をお伝えしたいと思います。当日の昼食メニューは、クリスマス特別メニューということでのハンバーグ・ポテト・チキン。更に、シャンメリーもついていました。利用者もスタッフも大満足!!



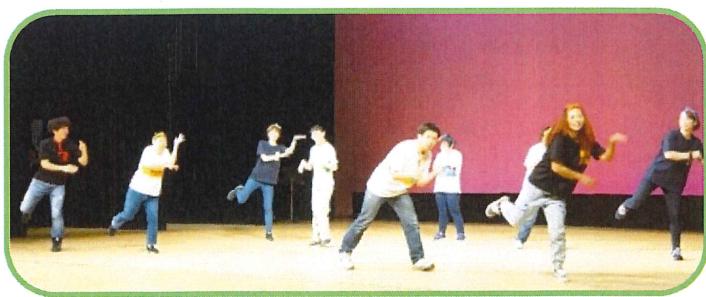
午後からレストランに集まり、クリスマス会スタート!  
毎年恒例のゲームでは、箱から出た紐を引っ張り、景品のお菓子をもらいました。中には大当たりなお菓子もカラオケでは皆さんでクリスマスソングを歌い、最後はスタッフによるバンド演奏♪リズムに合わせて体を揺らし、皆で一緒に歌いながら大盛り上がり。バンド演奏ではアンコールをもらい、とても楽しいクリスマス会になりました。

12月10日に千葉県文化会館で開催された『さわやか芸能発表会』に参加しました!広いステージでたくさんのお客さんがいる中、「つづく」と「つづく」を堂々と披露する事が出来ました。他事業所の発表も楽しんで鑑賞されていました。

現在、いくつかのグループに分けて外出行事『お茶会』を行っています。パフェやポテトなど食べたい物を選んでは美味しい表情をされています!



今年度もありがとうございました!来年度も楽しさが伝わるような内容を届けていきたいと思います♪



# カメリアハウス

## ★ ティーズニーランド外出！

毎年恒例のティーズニーランドへ外出してきました♪ 天候にも恵まれ、乗り物に乗ったり、ショーやお風呂ご飯を食べ、お土産を買いました。楽しい一日でした。

## ★ 歯科指導

先日1月14日に千葉県歯科衛生士会さんの歯科指導を受けました。8020運動ということで、年齢の若い利用者さんを中心に、参加していただきました。

歯科医師の先生のお話を聞いたり、歯科衛生士さんの歯ブラシ指導を受けつつ素化合物の体験もありました。皆さん、真剣に話を聞きわからぬことは、質問してみたり、一時間の講習会のなかで色々な体験が出来た一日になりました。※8020運動は80歳までに自分の歯を20本残そうという運動です。



# ゆたか福祉苑

本年度最後のおーんとなりました。最後を飾るのは、2月に行われた節分行事の風景です♪

ホールでは、鬼にちなんで『ももたろさん♪ももたろさん♪』の歌や『桃太郎の紙芝居劇』が行われました。歌や劇に参加するご利用者様、それを見ているご利用者様、共に笑顔になって楽しんでいました♪

ホールのイベントが終わると、『鬼』に扮したスタッフが各班の元へとやって来ました！『鬼はう外っ！』の掛け声と共に豆を投げると、鬼はすってんこりん！と倒されていきました。これでゆたかにも新しい が入ってくることでしょう♪

この84号が皆様の手に届く頃にはもうすぐ桜の季節を迎えることとなると思います。新しい体制となると思いますが、ご利用者様のより多くの笑顔が見れる様、頑張っていきたいと思います。



# とらのこキッズ

## 冬の思い出

冬の大イベントといえばクリスマス!! 今年度行なったクリスマス会の様子をご紹ひします。

### ① イオンさん

船橋イオンさんより、今年は各クラスのお子さんが楽しめる玩具を3つ頂きました!! 新しい玩具に大喜びでした☆

### ② 太陽さん

お隣の身体障害者福祉作業所太陽さんにて行われたクリスマス会にお招き頂いたので、みんなで参加しました。船橋ライオンズクラブ様のサンタさんから歌のプレゼントやお菓子のブーツを貰い、素敵なお会となりました♡

### ③ とらのこキッズクリスマス会

いつもと異なる園の雰囲気や人の多さに緊張しながらも、歌や楽器演奏の発表を頑張りました! また、保護者の方とダンスをしたり、職員によるダンスの発表を見たりと、皆で楽しく過ごしました♪ いました。



③



②



①



12月、知的クラスは2週にわたりクリスマス会を行ないました。ちょっと緊張しながらも出来るようになつたことを保護者の皆さんに披露しました。24日イブの日にはにじ組のクリスマス会。年長さんのツリー点灯式もありました。サンタクロースが登場するとみんな大興奮! プレゼントをもらつて素敵な時間を過ごしました。

## わざんかキッズ



年が明けると獅子舞、まめまき、ひなまつりと季節の行事が続きました。獅子や鬼にびっくりする子も正体がわかると安堵の表情に(◎) 今年度も楽しいことがいっぱいあつたわざんかキッズでした!



## 魔法のランプ

こんにちは。いつも私の拙い文章をじて拝読頂きました、厚く御礼を申し上げます。

さて、今回は魔法のランプの宿泊のことについてお話をさせて頂きます。当事業所の宿泊は、制度はない形で私的事業として、一泊一万円という料金をじて利用者皆様から頂いて運営をしております。しかし、船橋市には一時介護料助成制度というのが、障害者総合支援法ができる前から存在をしており、今でもそれが継続されております。

私たちは、宿泊するに際して、例えば事業所や学校若しくはご自宅から当事業所までお越しになるのにヘルパーと一緒に「移動支援事業」を利用してお越し頂いていたのですが、昨年末に船橋市から移動支援事業を利用して「一時介護事業所」である魔法のランプに送ることとは、認められないこと

現状、宿泊については、職員と一部の登録ヘルパーのみでの対応とさせて頂いております。可能な限りお受けできるようにしては参りますが、充分にお答えできませんよと思ひます。(理解いただきますようお願い申し上げます。

長期(3泊以上)に亘る宿泊になつた際には、障害福祉サービスの短期入所もじて考慮頂けることがあります。因みに短期入所は、国の事業となりますので、費用は基本的には一割負担ですが、殆どの方が費用を免除されます。(食事等は実費を頂く形となります。)

宿泊の様子は人それぞれです。食事は、調理器具を設置していませんので、基本的に出前を取らせて頂いています。一番はパソコンからも注文ができるので、ガストの出前をよく頼みます。隣に中華屋さんもあるのですが、あまり食べただことがありません。時々、近くにできた唐揚げ専門店の「からやま」というところまで歩いていき事もあります。揚げ物が好きな方も多くて…。朝食は、大半が前日にみらいコープで、おにぎりやパンなどを購入しておいて食べていますが時々、ランプに向かいマクドナルドで、朝マックをすることもあります。朝は人がいないので、静かな中で食事ができます。皆さんお勧めですよ!!

お風呂は、足も伸ばせるのですが、あまり伸びしている所を見たことがなく、皆様足を畳んで入っているの方が多いように感じます。それでも長湯の方もいれば、カラスの行水のようにあつとう間に出てしまう人もいらっしゃいます。

(田中)



連絡がありました。我々もそれでは皆様をランプにお連れすることができなくなると困るので、船橋市に検討して頂けないかお願ひしましたら、先日船橋市より今まで同様に利用して構わないとお話を頂きました。胸を撫でおろしました。

現在、宿泊については、職員と一部の登録ヘルパーのみでの対応とさせて頂いております。可能な限りお受けできるようにしては参りますが、充分にお答えできませんよと思ひます。(理解いただきますようお願い申し上げます。)

今年に入り、時間についてのお願いをさせて頂きましたが贅否両論のお声を頂きました。しかし、皆様からのご協力もあり、今まで以上にサービスをお受けすることができるようになつてしましました。厚く御礼を申し上げます。

今後も何卒よろしくお願い申し上げます。

# グループホーム

今年の冬は暖冬だったため、身を屈めるような寒さが少なかつたような気がします。新型ウィルスの影響で気分が沈みがちになりますが、春になつて街が花々で彩られてくると気持ちも明るくなりそうです。

\*

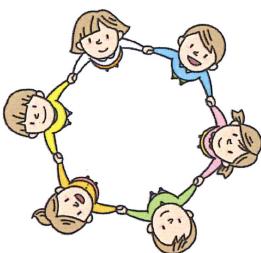
\*

\*

グループホームでは、年に数回、世話人のスキルアップのため研修を行っています。今回は、2月14日に行われました研修の報告をさせていただきます。今回は日常業務において楽しかったこと・嬉しかったことや、モチベーションを保つ秘訣などをグループワークで出し合い、発表するという研修でした。

様々な意見が交わされました。通所先とは違った利用者さんの姿が見られた、家事が出来る様になつたなど世話人ならではの意見が出ていました。ベテラン職員の仕事に対する熱い意見も聞くことも出来、今年度から世話人になつた職員にとっては、先輩職員のお話を聞ける貴重な機会となりました。

そして話し合いの中で『リフレーミング』を意識することを一つのテーマとして掲げられていきました。『リフレーミング』とは「フレーム」をかえてみる事だそうです。例えば「うるさい」をリフレーミングして言うと「明るい」「活発な」「元気がいい」等に言い換えることが出来ます。つい直接的な言葉を言いがちですが、リフレーミングすることで相手側の捉え方が変わってくると思うので、普段から意識して支援に取り組んでいただらと思います。



# 北総育成園

## 研修報告

千葉県知的障害者福祉協会主催『自立支援セミナー』

支援課長 高木恭一

今年も協会主催の自立支援セミナーに6名で参加しました。里見会長からの障害者福祉の現状についてのお話から始まりました。①入所施設はどこも定員を増していく、短期入所の長期化利用者が増えている。②強度化行動障害の人達・重症心身の人達の支援が課題。③一番大きな課題として人材確保があり、ある施設はここ5年全く新卒が入つてこない。との事だった。どれも北総の課題とかなり共通し、障害者福祉全体の課題なのだと気づかされた。特に人材確保は喫緊の課題である。

シンポジウムは昨年秋の台風災害について。まず、でいさくさべの濱本施設長から千葉県知的障害者福祉協会の調査報告がありました。県内の多くの施設が被害を受け、北総は被害が大きい部類に入るものの、11日以上も停電した施設が3カ所もあった。そして、協会の被災状況収集及び情報発信が大変迅速であり、北総にも近隣施設から支援物資が届きありがたかった。東日本大震災を経験して各施設も協会も災害対応が進歩したのだと思う。

次に被災施設からの報告があり、最初は館山市にある「中里の家」。南房総地域は風による被害が甚大であり、テレビでもたびたび取り上げられた。北総との大きな違いは、建物被害が大きかったことと近隣地域の被害が大きかったこと。その為、当日休んだ職員が9名で、自宅の被害がひどかった職員4人は一週間休んだ。また、学校や保育園が休

みで仕事に来られない職員もいた。この点からも職員を多く確保する事の大切さを感じた。そして、一定数の扶養家族のいない職員、すぐに来られる地元職員、同時に災害を受けない離れた地域の職員（茨城県等）などの職員の多様性も大切な要素だと思う。

二つ目の被災施設は千葉市緑区の「ガーデンセブン」。テレビでも取り上げられていたので、何度も映像で見たが、施設の裏の土手が崩れて建物内にも土砂が入り込んでいた。現在でも復旧に向けての途上である。被災の翌日に中野学園の方が大勢ボランティアに来てくれ、8割方片付いたとの事だが、その後の道のりが長く、土砂の撤去と斜面の応急復旧を2月末に終え、その後に本復旧に入るとの事だった。建物については、国の補助金をもらうため現在書類を整えているところで、利用者がまた生活できるようになるのは何年先なのだろうか？それまでの間いろいろな施設に分かれて生活している利用者も辛いし、職員も慣れない施設で臨時に働いた

り、巡回訪問や事務仕事で日々過ごしているのは辛いと思つ。最後は、台風で甚大な被害を受けた埼玉県川越市「けやきの郷」の阿部叔子理事長の講演であった。千葉県内が強風による大きな被害を受けた台風15号ではなく、長野県や関東から東北地方までの広い範囲に大雨による浸水被害をもたらした台風19号である。ドローンから撮られた映像は、荒川の支流が氾濫し、辺り一面が湖のようになっていた。けやきの郷の建物は湖の中に点在しており、場所柄から私は「忍城」への石田三成の水攻めの時もこんな風景だったのかなと想像をかき立てられた。そして、このけやきの郷は20年前にも浸水被害を受け、更には35年前に開所する際には地元の人からこの辺の地域は以前に浸水被害を受けたと聞き、1.5mの盛り土をして建物を建てた。それでも建物が1mも浸水してしまった。そもそもこの土地はハザードマップで真っ赤な浸水想定区域になっていた。こんな土地に障害者を追いやつた社会に対する怒りが言葉の端々に溢れていた。阿部さんはTBSラジオの

ディレクターとして働いてきた方で、自閉症の子が生まれてからもずっと働き続け、そして我が家子の為に自閉症の成人施設の設立の為に仲間と奔走してきた。その多くのご苦労はここでは書ききれないが、親御さんの必死な思いが心に響いた。

今回、建物は骨組み以外全く直さなければいけない大きな被害を受けたが、利用者は事前に全員が避難していく無事だった。日中の内に市民センターに避難し、施設では4名の職員が泊まつて施設の様子を撮影していく。その後の避難した利用者に対する周りの対応には唖然とさせられた。まず、一夜を明かした市民センターでは翌日にはサークル活動を理由に移動して欲しいと言われ、小学校の体育館に移動。しかし、その体育館でも授業が始まると出され、次に決まりた場所が旧公民館。そこの一階を使っていいということで1週間使っていたが、市民から「なぜ市民の為の公民館を一つの施設で占領しているんだ」と苦情が出て、また移動となつた。次の場所が総合福祉センターOアシスというところ。ここではよう

やく長くいられるようになつたが、問題はここが福祉避難所に指定されていないこと。法律の問題があり、避難所という言葉は使用しない様にと言われている。そのため埼玉県内の避難者はゼロということになつていいのだと。本当にこの理不尽な社会をなんとかできないのだろうかと考えさせられた。阿部さんはただ怒るだけでなく、いざと言う時、集団避難所になる場所は絶対に必要であり、廃校になった小学校の利用をとの提案をしているが名案だと思う。私の住む大栄地区でも2年後に小学校が統合されるので5つの廃校が出来る。なんとか有効な使い道をして欲しいと切に願う。インタビュアーの牧島博子さんはさすがの構成力だった。TBSの大先輩である阿部さんの引き立て役に徹していた。先輩をより輝かせることが出来る後輩というのも素晴らしいなと感心させられた。この自立支援センターは毎回、福祉以外の分野の本物のプロを呼んでくれるので本当に有意義な研修だと感じる。今後の北総の仕事に大いに生かして参りたいと思います。

# 笹川なずな工房

## 令和2年 新年会

支援課長 横堀 隆

令和2年1月18日（土） 笹川なずな工房の新年会が華やかに行われました。利用者、ご家族、職員併せて56名の宴会。笹川なずな工房の新年最初の行事であり、ご家族の方とゆっくり話す機会である大切な行事です。日頃の日中活動では作業を中心として、目標に向かって働く事を展開していますから利用者も職員も真剣勝負です。しかし、この日は利用者さんも食べて飲んで、歌つたりととても楽しみにしてくれています。食べきれない程の御馳走と、この日の為に練習

を重ねてきたカラオケを披露してくれる利用者さんも沢山います。中には飛び入りで職員とデュエットを歌う利用者さんもいて会場は大いに盛り上がっていました。



人式」が各地で開かれ、新成人も晴れて大人の仲間入りを果たす大切な行事があります。今年は

1月13日（月）が成人の日でした。特別支援学校を卒業され、18歳で利用を開始し工房での作業にも慣ってきたころに成人式を迎えます。女性利用者は振袖を着てそれはそれは華やかな写真を見せてくれたり、男性利用者はビシッとスーツで決めた写真を見せてくれたりと、それぞれの成人式を報告してくれます。新成人を迎える利用者さんみんなでお祝いするため、「成人の祝い」と称して毎年行事を行つており、近年はこの新年会の場で披露する機会を設けています。今年はGさんが成人を迎えました。施設長のお祝いの言葉から始まり、日頃作業を共にする職員からもお祝いの言葉をかけてもらいました。Gさんの兄も工房を利用しており兄弟で通所したり、嬉しかった事などその場面を回想してはその光景が浮かぶようになります。母から一言挨拶を頂きましたが、これまで育ててきただご苦労だつたり、嬉しかった事などその場面を回想してはその光景が浮かぶようになります。母もそんな二人の頑張りに勇気をもらっているようです。祝いの席の中で、利用者代表の挨拶をサプライズでお兄さんにお願ひしました。「Dちゃんへ成人おめでとうございます。Dちゃんも大人の仲間

入りですね。今まで泣いたり笑つたり色々あつたけどすべてが大切な思い出です。これからも一緒にお風呂へ入つたり、ご飯を食べたり僕の大切な弟でいて下さい。そして、なずな工房での仕事も今まで以上に一緒に頑張つていきましょう。利用者代表G、H。弟の為と一肌脱いでくれ、堂々と兄ならではのお祝いの言葉を語り掛けるようにじっくり話してくれました。サプライズメッセージに母も会場も涙の感動を呼びました。最後にGさんやなずな工房の成長を見守るところまで育ててきました。これからは我々職員一同、嬉しい事が多かったのであります。雨の日も、風の日も二人で頑張って電車に乗つて通つております。母もそんな二人の頑張りに勇気をもらっているようですね。祝いの席の中で、利用者代表の挨拶をサプライズでお兄さんにお願ひしました。「Dちゃんへ成人おめでとうございます。Dちゃんも大人の仲間入りを果たすよ

# 後援会だより

期待を込めて のある管理者・泉一成



令和元年11月27日後援会主催の講演会を無事に終え、さて令和2年はどうしようかと考えています。その前に令和2年後援会の総会は、<sup>1回</sup>

**総会は6月2日(火)**

**薬円台公民館です**

第一部の総会に続き、第一部では、さざんか会各事業所管理者との意見交換の時間も設けています。ぜひご参加ください。

令和2年1月14日(火)後援会の評議員会がけいよう会議室で行われ、理事会・評議員会でも要望させていただいた「日中サービス支援型のグループホーム建設」への期待を話しました。

船橋市内では、令和2年2月に夏見4丁目に定員14人で事業を開始している事業所もあります。さざんか会に重度化・高齢化に対応する日中サービス支援型のグループホームを建設してほしいと期待をしています。この制度は、平成30年から始まり、重度の障害者に対し常時支援体制を確保して、その人らしい生活のありようを支援していくのです。従来のグループホームと異なり手厚い世話人の配置が基準になり、訪問看護や訪問リハビリも受けることが可能になります。

準備するのは、今までしょ!!

# 津久井やまゆり園判決から

事件から田をそひたらないでのまる泉一成

令和2年3月16日津久井やまゆり園の元職員である被告に死刑判決が出ました。

私は、その前日、朝日新聞に「れいわ新選組国会議員木村英子参議院議員」は、障害のある子の誕生日に「おめでとう」といえる社会かどうかを問う。といった記事が目に留まりました。

木村議員は、生後8か月の時に歩行器ごと玄関から落ち大けがをして重度の障害を負いました。18歳までの大半を施設で暮らしがつてこそです。

津久井やまゆり園の被害から目をそらさず、地域や社会が障害のある人を施策の1丁目1番地に考えて、共に生きる共生社会の実現に一歩でも近づいていくようしていきたいものです。

れいわ新選組の2人の参議院議員の誕生で、社会全体が変わってきたと実感できるように期待

施設にいた頃の傷ついた心を思い出したくないため、集中して公判の報道を見ることができないといいます。

あたりですが、元職員を非難するだけでなく、障害のある人を温かく、見守る社会になつてい

るだろうか、検証が必要だと考

ています。被告の「優勢思想が問題だ」と声高に叫ぶだけではなく、

障害のある人もない人も共に助け合っていく社会を私は、望んでいます。障害ある弟が一人暮らしできているのも地域の助けがあ